



第155号

こんにちは県議会です

発行/長野県議会 編集/長野県議会広報委員会

【党派等議員数】

定数	57人
自由民主党県議団	28人
改革・創造みらい	12人
県民クラブ・公明	8人
日本共産党県議団	5人
無所属	3人
現員	56人(欠員1人)
(令和4年8月1日現在)	



令和4年5月臨時会(5月13日)の概要

教育委員会教育長の選任について審議し、原案のとおり同意しました。

令和4年6月定例会(6月16日~7月1日)の概要

可決した議員提出議案一覧

今定例会では、知事から令和4年度一般会計補正予算案や長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例案などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(29名)や委員会審査では、世界情勢の変化等による急激な価格高騰への対応、教育委員会から示された県立高校の再編・整備計画【三次】(案)、アフターコロナを見据えた観光・移住政策など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、「長野県価格高騰緊急対策(第一弾)」の実施や、新型コロナウイルス感染症への対応などに必要な予算を盛り込んだ総額54億6,008万円余の令和4年度一般会計補正予算案など23件を原案どおり可決、同意又は承認しました。

議員提出議案及び委員会提出議案は、長野県議会委員会条例の一部を改正する条例案など11件を可決しました。

意見書は国に提出し、実現を求めました。



- ・産業人材育成支援の更なる推進を求める意見書
- ・インバウンドの本格的な再開に向けた取組を求める意見書
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・義務教育の更なる充実を求める意見書
- ・教師不足問題の抜本的な改善を求める意見書
- ・基幹業務システムの標準化に対する支援を求める意見書
- ・環境教育及び学校施設のZEB※化の更なる推進を求める意見書
- ・米軍機の飛行訓練等に関する意見書
- ・原油等物価高騰対策を求める意見書

※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)・・・快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物。

本会議での主な審議

Q ... 議員の質問質疑

A ... 知事・部長等の答弁

議論1 価格高騰対策について



Q 急激な価格高騰により多大な影響を受けている県民や事業者をどう支援していくか。

A 「長野県価格高騰緊急対策(第一弾)」は、政府の対策を踏まえつつ、事業者や金融機関へのヒアリングなどにより実情を把握したうえで方向性を取りまとめた。本県の実情に即した対策を関係機関と連携して推進していく。価格高騰の影響は今後も継続することが予想されることから、今後の国の対策も最大限活用しながら、県民の暮らしや産業経済への影響を注視しつつ、必要な対策を適切に講じていく。

Q エネルギー価格の高騰対策として、ゼロカーボンの推進、再生可能エネルギーへの転換が必要ではないか。

A 再生可能エネルギーの発電コストは年々低下しており、特に太陽光発電は将来的に最も低廉となる可能性が示されている。加えて、コストの低下以外でも、エネルギー費用の地域内循環による地域経済の活性化や、未開発部分が多い再生可能エネルギー分野における新たな技術創出、地域資源の発掘等も期待できる。様々な効果が見込まれる再生可能エネルギーの普及拡大に努めていく。

Q 今回の価格高騰対策では飼料購入費への支援が行われるが、この支援は継続的に行われるのか。また、肥料購入費への支援も必要ではないか。

A 今回の県の独自支援は、急激な価格高騰により国の制度だけでは賄いきれない畜産農家負担に対して緊急的措置として実施するものである。一般的には農畜産物の価格は市場の取引により決定されるため、コスト増加分の価格転嫁が難しく、経営の安定のためには国の補填制度の見直しなどが必要と考えている。このため、飼料については畜産農家に対して十分な補填金が交付されるよう制度の見直しを求めるとともに、肥料については現在補填制度がないことから、新たな制度の創設を国に強く要望した。

議論2 県立高校の再編・整備計画



Q 今回の再編・整備計画【三次】(案)は、都市部への一極集中型の計画になっていないか。地域の均衡ある発展の趣旨からどう捉えているか。

A 今回の案は、「都市部存立校」と「中山間地存立校」の区分を設け、旧通学区を基本単位として地域の協議会の意見を踏まえつつ、地域全体、県全体の高校の将来像を総合的に検討してまとめたもの。「都市部存立校」については今後も一定の規模が維持できるように、また「中山間地存立校」についても可能な限り存続できるよう地域バランスにも考慮して立案した。

Q 地域や同窓会の声、さらには当事者である現役生の声をどのように集め、反映させていくのか。

A 今回の案を、今後開催する住民説明会で地域に説明するとともに、必要に応じて、当該市町村、同窓会、PTA等に対しても説明を行いご要望をお聞きしていく。

現役生については、統合新校ごとに設置している「再編実施計画懇話会」に生徒も参加しており、既に活発に意見が出されている。その他、シンポジウムやアンケート、意見交換の計画もある。様々な機会をとらえて理解を深めてもらうとともに、現役生等の意見を集約し、新たな学校創りに反映できるように進めていく。

議論3 観光振興政策



Q 長期滞在やスポーツイベント等を生かした長野県観光の魅力向上をどう進めていくか。

A 一昨年「Afterコロナ時代を見据えた観光振興方針」を策定し、その柱である「長期滞在型観光の推進」、「信州リピーターの獲得」などに沿い、施策を展開してきている。また、現在実施している「信州の観光地魅力向上実践事業」によりスポーツなども生かした長期滞在、リピーター獲得につながる新たな広域的な観光地域づくりを支援していく。

Q インバウンドの受入れ再開が見込まれる中で、経済再生の起爆剤となりうるインバウンド戦略をどう再構築していくか。

A 短期的・中長期的な観点も意識しながら、戦略としては、ターゲット国を設定してのトップセールスなどの効果的なプロモーションの展開、外国人に人気がある歴史や文化、自然体験など本県の特徴を生かしたコンテンツの造成促進などに取り組んでいく。また、受入環境整備などに市町村や観光事業者とともにこれまでも取り組んできており、引き続き本格再開を見据え、需要を確実に確保できるよう取組を進める。

常任委員会の委員長報告から

各委員会では、付託議案、所管事項に関する質疑等及び請願・陳情の審査を行いました。各委員会の委員長報告全文は、県議会ホームページでご覧いただけます。



総務企画警察委員会



【次期総合5か年計画】

計画の策定の進捗状況、考え方等について説明があり、委員からは、少子化対策やゼロカーボンなど困難な課題にしっかりと取り組むことはもとより、独立した警察本部庁舎の新設、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、女性の職場環境の改善、公共交通における利便性の向上等についても計画の中に位置付けるよう検討すべきとの意見が出されました。

県民文化健康福祉委員会



【生活困窮者への支援】

コロナ禍や物価高騰などに直面する生活困窮者を支えるため、必要としている方への食料支援を確実に行うとともに、新たに生活必需品についても支援を行うとの説明があり、委員からは、生活困窮者の健康にも留意した食料品の提供や、民間事業者を含め、県全体で助けあう仕組みづくりを求める意見が出されました。

産業観光企業委員会



【事業者への支援】

新型コロナウイルス感染症に加え、価格高騰の影響を受ける事業者等への補助事業の創設等により、中小企業における経営構造の転換や省エネルギーによる収益構造の改善等を図っていくとの説明があり、委員からは、見込まれる事業効果に関する質問や、対象者が活用しやすい支援施策の実施等について意見が出されました。

農政林務委員会



【燃料や家畜飼料等の価格高騰への対応】

今回補正予算案を計上するなど、農業者の経営継続に向けた支援に全力で取り組んでいくとの説明があり、委員からは、農家への更なる経営支援を求める意見や、遊休農地の活用などによる自給飼料の確保に期待する声のほか、地消地産の推進と併せて、本県の食料自給率を上げていくべきとの意見が出されました。

危機管理建設委員会



【長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例案】

委員から、新しい盛土は適正に管理されることになるが、既存の盛土はどのように対応するのか質問があり、建設部からは、1,087箇所の既存盛土を目視点検しており、災害防止措置が確認できなかった盛土については災害防止対策に着手済みであり、対策が完了するまで市町村と連携し監視を続けていくとの答弁がありました。

環境文教委員会



【教育長の勤務時間及び休暇等に関する条例案】

委員から、実効性ある条例とするための取組について説明を求めたのに対し、教育委員会から、教育長の勤務時間を把握しその上で心身の健康管理や業務の負担軽減に取り組んでいくとの説明がありました。

また、委員からは、今後の委員会においてその取組成果をしっかりと確認していくとの意見が出されました。

常任委員会の動き

各委員会では、議会閉会中に県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行う「現地調査」を行っています。

総務企画警察委員会

6月6日～7日 北中信地域



須坂警察署の調査

「ゼロカーボンチャレンジ by戸倉上山田Ⅲ ITプロジェクト」の視察

県民文化健康福祉委員会

6月2日～3日 東北信地域

7月7日～8日 南信地域



須坂看護専門学校の調査

伊那文化会館の調査

産業観光企業委員会

5月30日～31日 中中信地域



工業技術総合センターの調査

小波第2発電所・小波えんまん発電所の調査

農政林務委員会

7月11日～12日 中中信地域



榑フラワー・スピリットの視察

伊那市上牧里山整備利用地域の視察

危機管理建設委員会

7月4日～6日 東北信地域



豊田中野線 中野市 笠倉～壁田の調査

見切沢 上田市 虚空蔵の調査

環境文教委員会

5月25日～26日 中中信地域



安曇野市立豊科北小学校の視察

犀川安曇野流域下水道事務所の調査

最近の議会の取組

県議会では、緊急時における議会運営への備えや、議会審議の充実・ペーパーレス化等の推進を図るため、情報技術の活用にも積極的に取り組んでいます。

緊急時における議会運営への備え(委員会へのオンライン出席)

令和4年2月定例会の会期中に議員の新型コロナウイルス感染症陽性者が発生し、委員会審議などの日程変更の必要が生じたことを受け、県議会では緊急時に委員会が開催できない場合にどう対応していくか検討を重ねてきました。

その結果、感染症や大規模災害などの緊急事態の発生により委員が委員会への参集が困難な場合、特例としてオンラインにより出席できるようにする取扱いを決定し、6月定例会から運用できるよう長野県議会委員会条例を速やかに改正するとともに関係規程を整備しました。

議会における情報技術の活用(公用タブレット端末の導入)

県議会では、議会審議の充実、議会運営の効率化、ペーパーレス化等の推進を図るため、令和元年度から情報技術の活用について検討を重ねてきました。その結果、6月定例会において長野県議会会議規則を改正するとともに関係規程を整備し、11月定例会から議会審議に公用タブレット端末を使用することが決定しました。



県民の皆さんと意見交換会を実施します

身近で開かれた県議会を目指して、議長、副議長、広報担当の議員等が地域の方々と意見交換を行う「こんにちは県議会です」をオンラインにより実施します。

※結果は後日県議会ホームページで公表します。

開催日 : 令和4年8月24日(水)

テーマ : ～環境政策のごみ問題はいま～

循環型社会づくりをどう進めますか

参加団体 : 味の素(株)関東支店長野営業所、イオンビッグ(株)、イオンリテール(株)北陸信越カンパニー、(株)しんえこ、直富商事(株)、松本市、松本市「暮らしと環境」を考える会、NPO法人みどりの市民



決算特別委員会を設置しました

委員長 中川 博司(改) 副委員長 望月 義寿(改)

委員 西沢 正隆(自) 小島 康晴(改) 依田 明善(自) 花岡 賢一(改) 石和 大(自) 川上 信彦(県) 丸茂 岳人(自) 加藤 康治(県) 大井 岳夫(自) 高村 京子(共)

※(自)自由民主党県議団、(改)改革・創造みらい、(県)県民クラブ・公明、(共)日本共産党県議団

広報番組

「こんにちは県議会です」を、ケーブルテレビで放送します

内容 6月定例会の本会議での主な審議や、産業観光企業委員会と危機管理建設委員会と環境文教委員会の模様等

※放送日時は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。 ※過去1年分の番組は、県議会ホームページでご覧になれます。



9月定例会日程

【会期21日間】

- ▽9月22日(木) 開会
- ▽9月28日(水) 代表質問
- ▽9月29日(木)～10月4日(火) 一般質問及び質疑
- ▽10月5日(水)～10月7日(金) 各委員会
- ▽10月11日(火) 総務企画警察委員会
- ▽10月12日(水) 閉会

県議会ホームページをご覧ください

※本会議のインターネット中継(生中継及び録画)については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

長野県議会

検索



県議会Twitterをご覧ください 皆様のフォローをお願いします。

@Naganokengikai



「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。お問い合わせ、ご意見は長野県議会事務局調査課まで

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

TEL 026-235-7414(直通) ●FAX 026-235-7363

●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp

長野県議会ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html>